



東京海上ホールディングス株式会社 証券コード：8766

第22期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

Copyright (c) 2023 Tokio Marine Holdings, Inc.

東京海上グループは、アジア太平洋地域において、マングローブ植林プロジェクトに継続的に取り組んでいます。

目次

株主の皆様へ	2
各事業における取組み	4
[Topic 1]	
サステナビリティの取組み	9
[Topic 2]	
Human Capital Reportの発行	12
連結経営成績および通期業績見通し	14
配当	17

株主の皆様へ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、台風や震災等の自然災害により被害を受けられた皆様に、心より
お見舞い申し上げます。

当社はこれまで「お客様や地域社会のいざをお守りする」というパーパスを起点に、時代ごとに変化する社会課題の解決に取り組んでまいりました。

このパーパスが変わることはありません。一方、それ以外で変えるべきことがあれば躊躇なく変え、常に社会や時代の期待にお応えできる存在であり続けたいと思います。このように自己変革を続けながら、引き続き、拡大・複雑化する社会課題の解決に取り組み、全てのステークホルダーに価値を提供し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 グループCEO

小宮 暁



各事業における取組み

東京海上日動における取組み

宇宙ビジネスのリスクを下支えし企業の取組みを支援

2023年4月、小型人工衛星向けのシンプルな宇宙保険加入プロセスの構築等に向けて資本業務提携を開始しました。



東京海上日動

お客様や地域社会のいざを支え、お守りする

国際宇宙保険市場にて30年以上にわたって
宇宙保険の引受を行ってきた経験・ノウハウ

資本業務提携

AXELSPACE

宇宙をより「普通場所」にするために

高品質の小型人工衛星を開発から運用まで低コスト
でパッケージ化し提供できる国内唯一※の事業者

生成AIを活用し業務の効率化および高度化を推進



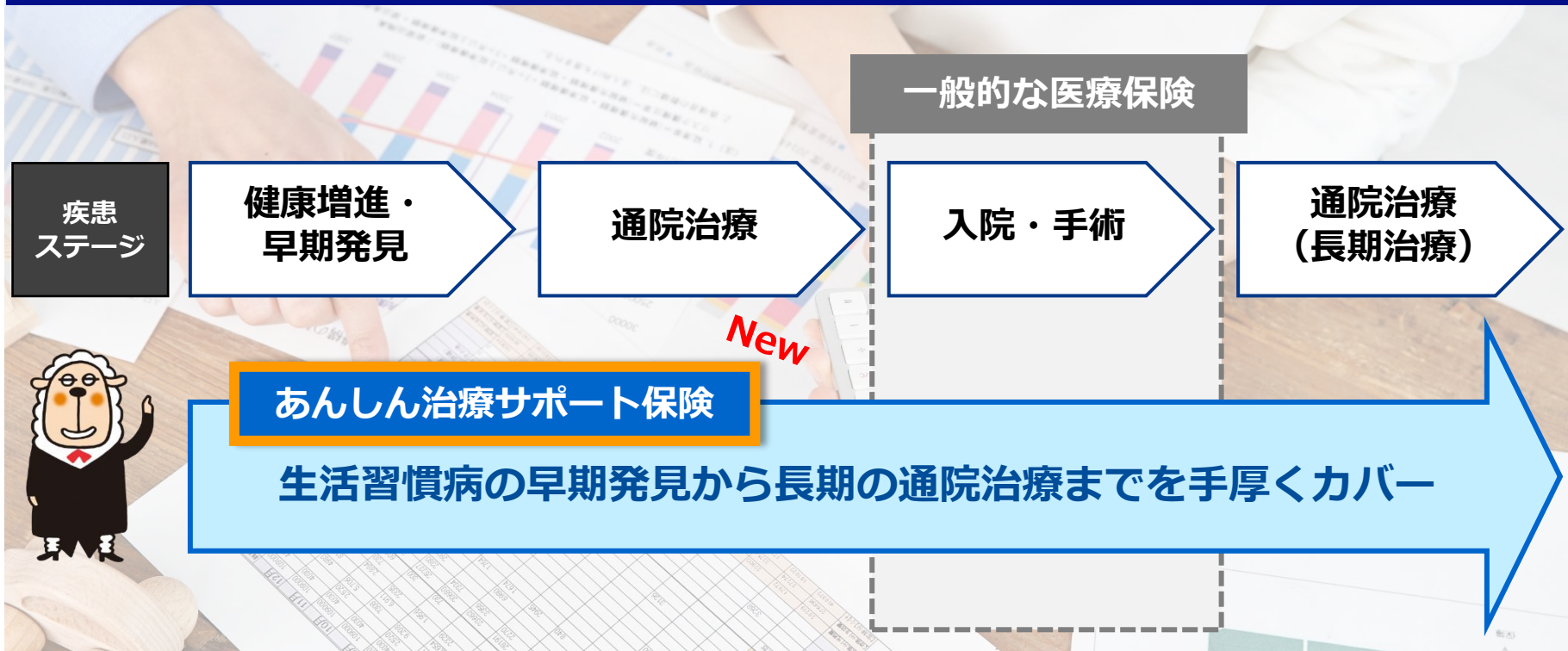
AI

業務効率化推進

生成AIで業務を効率化し、
創出された時間を活用して、
新たな価値創出に繋げていきます。

あんしん生命における取組み

病気にかかる前からサポートする新商品を発売



海外における取組み

事業ポートフォリオの最適化に向け、継続的に事業の入替えを実施

IN

2023年8月

今後拡大が見込まれる中小企業
向けの医療保険分野に高い知見
をもつ米国保険総代理店を買収

東京海上グループ

OUT

2023年8月

さらなる資本効率の向上およびリ
スク分散の拡大を目的としたグア
ム現地法人の売却に合意

[Topic 1]

サステナビリティの取組み

1999年からマングローブ植林プロジェクトを継続

アジア太平洋地域において、マングローブ植林プロジェクトに継続的に取り組んでいます。
こうした取り組みの結果、2013年度から10年連続でカーボン・ニュートラルを達成しています。



マングローブ植林に関する寄付の結果のご報告

2023年6月に開催した株主総会に関し、インターネットで議決権行使いただいたことにより削減された郵送料相当額を、マングローブ植林を行うNGOに寄付させていただきました。

多くの株主の皆様のご協力に感謝申し上げます。

- ・インターネットで議決権行使
いただいた株主様 **26,310名**
(前年比14,689名増)
- ・NGOへ寄付した金額 **2,052,180円**
(前年比1,203,847円増)

子どもたちへの教育や啓発に取り組む

「ぼうさい授業」を拡大

国内に加え海外でも「ぼうさい授業」を展開

1,195回実施、約7.7万人が受講（2023年3月末累計）



日本の小学校での実施模様



ベトナムの小学校での実施模様

(注) 「ぼうさい授業」の実績については国内実施分を掲載しています。

「ジュニアアドバイザリーボード」を開催

高校生が未来世代の視点から東京海上グループに提言する「ジュニアアドバイザリーボード」を開催



[Topic 2] Human Capital Reportの発行

当社の「人」への想いを1冊のレポートに



「人」、人材の力を最大限に引き出すための戦略や経営陣の想い、人事戦略に基づく各種施策をまとめたHuman Capital Reportを発行しました。

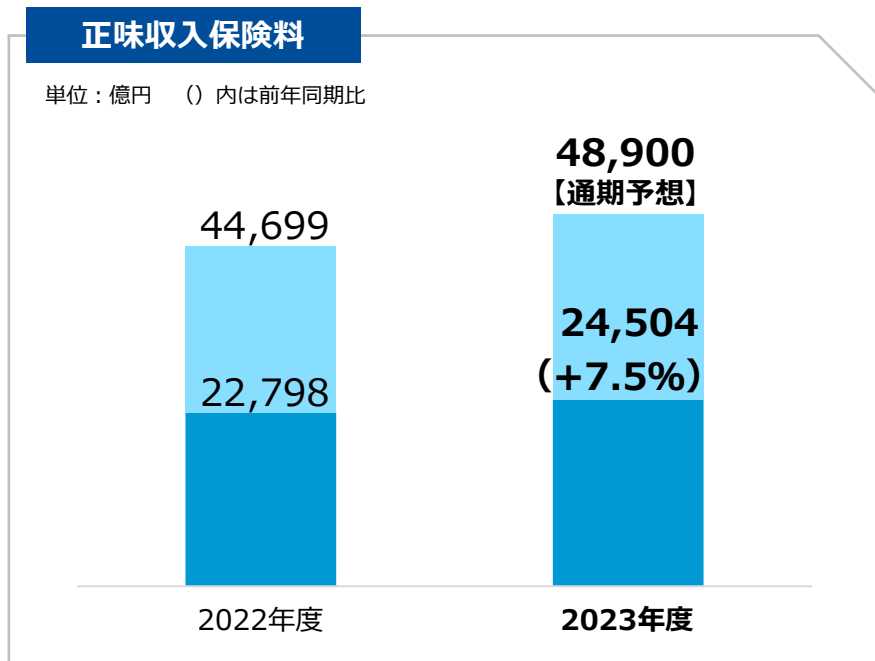
(当社ウェブサイト：[https://www.tokiomarinehd.com/ir/download/16guv3000000h3b7-att/2023_Human_Capital_Report_j\(202309\).pdf](https://www.tokiomarinehd.com/ir/download/16guv3000000h3b7-att/2023_Human_Capital_Report_j(202309).pdf))

連結経営成績および通期業績見通し

連結経営成績および通期業績見通し（1/2）

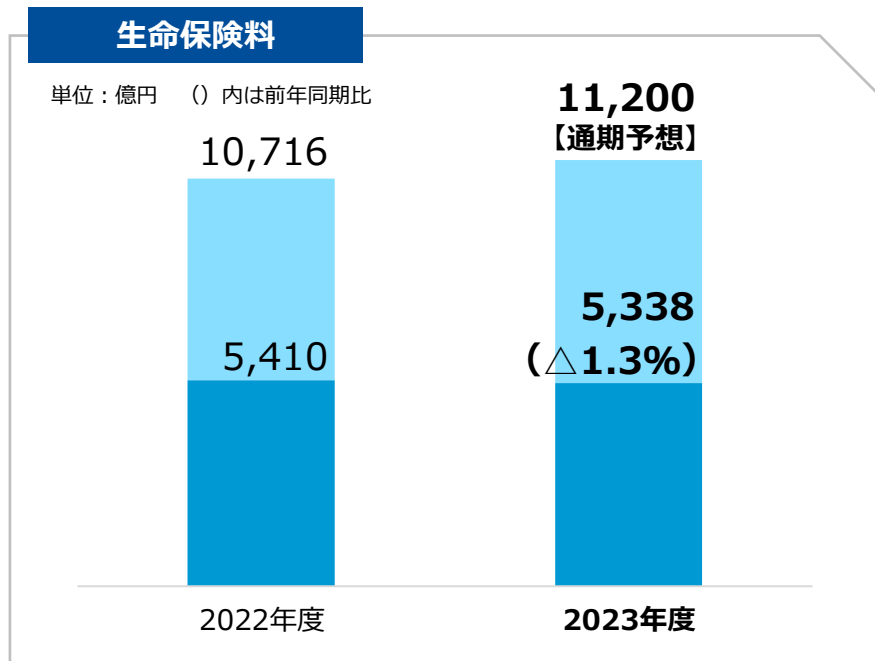
■ 正味収入保険料について（■ 中間期 ■ 通期）

主に海外における保険営業の伸展や円安の影響により増収しました。



■ 生命保険料について（■ 中間期 ■ 通期）

海外は円安や保険営業の伸展により増収したものの、国内は事業保険の解約により減収し、全体としては減収しました。



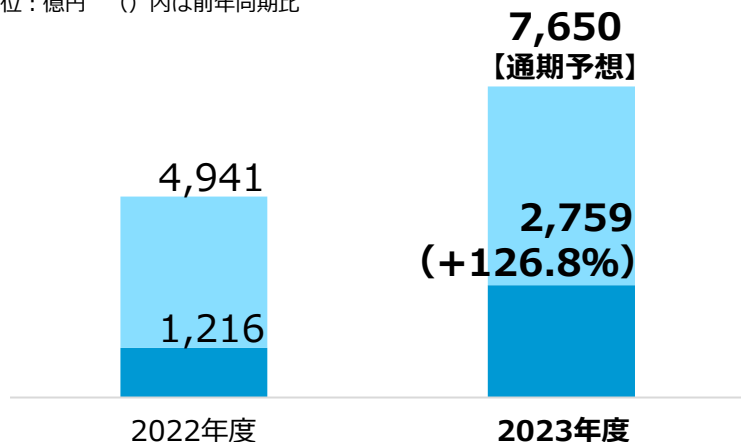
連結経営成績および通期業績見通し（2/2）

■ 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益について（■ 中間期 ■ 通期）

国内外での新型コロナウイルスに関する発生保険金の減少や、海外の保険引受および資産運用の好調により、増益しました。

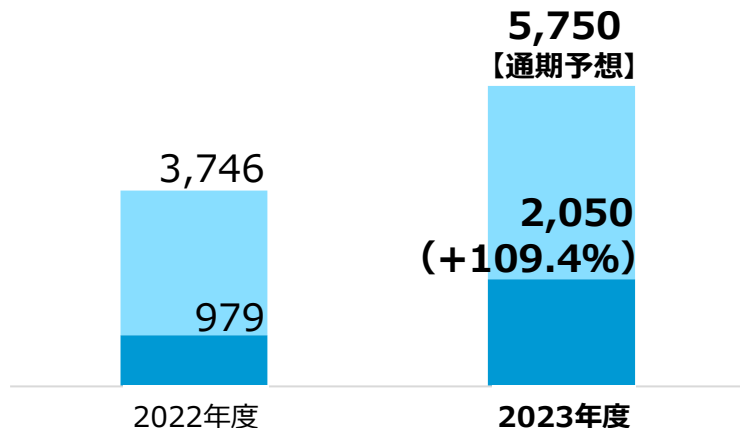
経常利益

単位：億円（）内は前年同期比



親会社株主に帰属する当期純利益

単位：億円（）内は前年同期比



■ 通期業績見通し

通期の親会社株主に帰属する当期純利益については、国内外での新型コロナウイルスに関する発生保険金の減少に加え、政策保有株式の売却益の増加等を見込むことにより、増益予想としています。

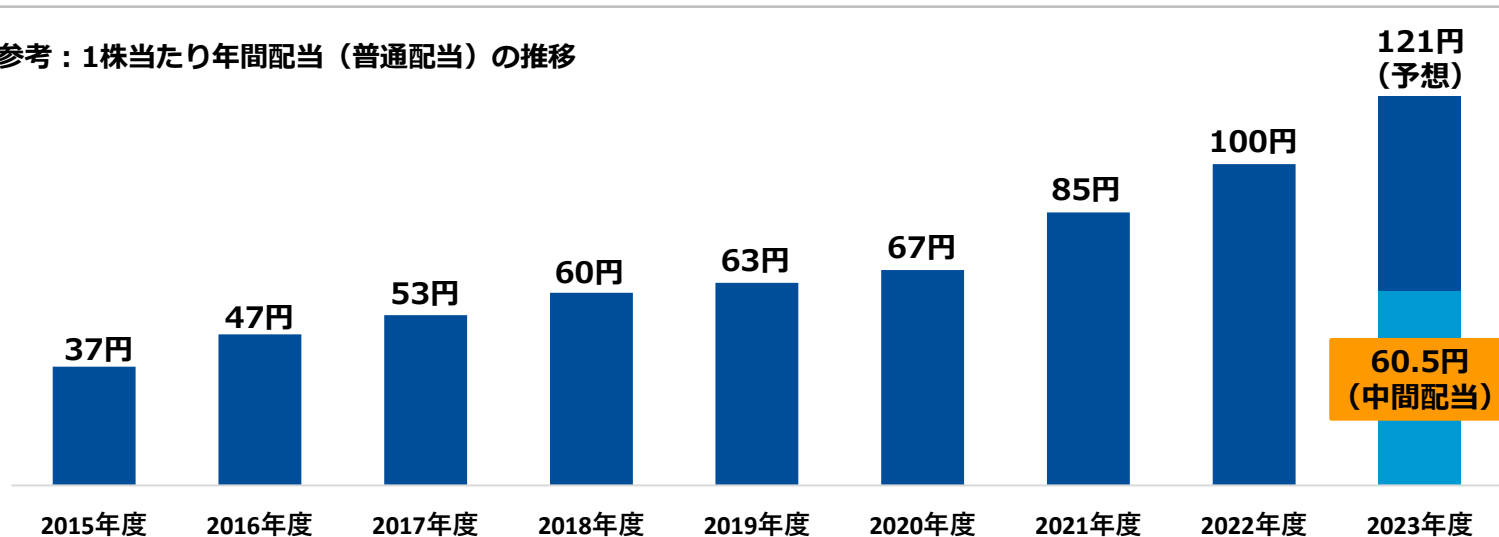
配当

配当

当年度の中間配当は1株につき60.5円をお支払いします。

当年度の期末配当は1株につき60.5円を見込んでおり、当年度の年間配当予想は1株につき121円としています。

ご参考：1株当たり年間配当（普通配当）の推移



実施時期	金額（1株につき）
2018年度中間期	23円
2019年度中間期	12円
2020年度中間期	12円

- (注) 1. 株式分割前の配当については、株式分割後の1株当たりに対応する金額（小数第1位を四捨五入し表示しています）を記載しています。
2. 上記の普通配当に加え、左記のとおり資本水準調整のための一時的な配当を実施しています。



東京海上ホールディングス株式会社